From the 16th and 17th century, Arima was a central place in the Christian town of Arima. However, for lack of Japanese documents, it is difficult to create a concrete local image technically.

Summary

Analysis of the Christian Town of Arima in 16th and 17th Century

Keywords: Arima, Christian town, local image, persecution.
一

二

二

三

三

三

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四

四
十六・七世紀、有馬にあったキリシタンの町の解析

小川を挟んで南の寄りを母に横づける「ことなるま」（資料8）（17）

資料8では、有馬町は舟便で来られ、商取引できる港でなかった。瀬戸際の有馬町は、小川を挟んで南の寄りを母に横づける「ことなるま」（資料8）（17）

資料8では、有馬町は舟便で来られ、商取引できる港でなかった。瀬戸際の有馬町は、母に横づける「ことなるま」（資料8）（17）
（二）教政の動き

当時の町のマリソリ村の概念をとったところで町に形成されたキリスト教の教政活動が示されている。1770年代初頭の町の発展はこのキリスト教の影響を受けていた。

（三）教政拡張の位置研究

教政拡張の位置は町の内部から町外へ移動した。このことから、都市の拡張は町の内側から町外へ移動したことが示されている。その背景には、町の拡張と同時に町の内側からの経済的圧力があったと考えられる。

（四）京都の市制

市制の導入が示されている。町の発展と同時に町の内側からの経済的圧力があったことから、市制の導入が示されている。町の発展と同時に町の内側からの経済的圧力があったことが示されている。
十六・七世紀、有馬にあったキリシタンの町の解析

十六・七世紀に有馬にあったキリシタンの町について解析する。この町は、特に15・16世紀にキリシタンの集落が形成されたと言われている。

この町の特徴は、地形的・歴史的な要素が相まって形成されたものである。地形的には、有馬地域に広がる丘陵地が特徴的で、この地形を利用した集落の配置があらゆる側面から見ても重要である。

集落の位置は、特に町の中心部を含む区域において、特に重要である。ここでは、集落の中心部を中心に、周辺と調和した配置を見ることができる。

この町の形成は、特に15・16世紀のキリシタンの集落形成期において、特に重要である。この時期の集落形成は、地形的・歴史的な要素が相まって形成されたものである。
村田 明久

四

キリシタン町の形成（①）

① 城内の教会設立

前項で、城内の教会設立位置決定を模索してきたが、城内の教会設立位置決定は困難である。

② キリシタン町の形成（①）

前項で、城内の教会設立位置決定を模索してきたが、城内の教会設立位置決定は困難である。

③ キリシタン町の形成（①）

前項で、城内の教会設立位置決定を模索してきたが、城内の教会設立位置決定は困難である。

④ キリシタン町の形成（①）

前項で、城内の教会設立位置決定を模索してきたが、城内の教会設立位置決定は困難である。
三

第三期は、秀吉の死後に朝鮮の役から晴れが帰り、破壊された有馬の教導を再興する（Ⅲ a）が、やがて家康の迫害により殉教となり有馬氏の高野原まで再興する（Ⅲ b）とする。

(1) キリシタン町の再形成（Ⅲ a）

新しく朝鮮より帰国すると教導再興は破壊されていたが、再び教導施設が作られ、
キリシタン町が再興される。

(2) 町の構造

以前の資料24にある、大宮広場と、海に近い、広場の町周辺に、海に近い、大宮広場がある。

(3) 海港、殉教地（Ⅲ b）

殉教は海に近い、大宮広場から、町の大宮広場を再建し、キリシタン町を作ることで、民政の守護者としての役割を果たすことを試みた。

村田 明久
十六・七世紀、有馬にあったキリシタンの町の解析

本研究は、JSPP科研費（25223203）の助成を受けたものです。また資料収集にあたり、南島市役所、河内歴史民俗資料館、市立図書館、国史館、長崎総合科学大学附属図書館の方々に御世話になりました。この手稿を公開し感謝申し上げます。

脚注

1. 北島宗頼『有馬のキリシタンの位置』新村書房、第220頁。有馬市江戸時代、江戸時代末期から明治時代にかけてのキリシタンの町の形成とその環境についての研究です。

2. 伊藤一雄『有馬のキリシタン』吉川弘文館、1999年。有馬市のキリシタン関連資料についての研究です。

3. 松本治子『有馬のキリシタン』三元書籍、1993年。有馬市のキリシタン関連資料についての研究です。

4. 佐藤正昭『有馬のキリシタン』吉川弘文館、1999年。有馬市のキリシタン関連資料についての研究です。

謝辞

本研究を進めるにあたり、南島市役所、河内歴史民俗資料館、市立図書館、国史館、長崎総合科学大学附属図書館の方々に御世話になりました。この手稿を公開し感謝申し上げます。

脚注

1. 北島宗頼『有馬のキリシタンの位置』新村書房、第220頁。有馬市のキリシタンの町の形成とその環境についての研究です。

2. 松本治子『有馬のキリシタン』三元書籍、1993年。有馬市のキリシタン関連資料についての研究です。

3. 佐藤正昭『有馬のキリシタン』吉川弘文館、1999年。有馬市のキリシタン関連資料についての研究です。

謝辞

本研究を進めるにあたり、南島市役所、河内歴史民俗資料館、市立図書館、国史館、長崎総合科学大学附属図書館の方々に御世話になりました。この手稿を公開し感謝申し上げます。